※令和４年度以降入学生用

学校番号	403

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１　（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習します。
・美術の学習は知識や表現力の向上だけでなく、学びを深めることで物事の視野を広げることにつながります。アートや文化を学ぶことで生涯、生活の質が向上します。様々な素材や形、色に触れ歴史上有名な絵画や彫刻、デザイン、写真や映像などから学びを進めていきましょう。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
① 美術文化に関心を持ち知識を深める。また、その良さについての理解を深め、自ら表現する技能を養う。（知識及び技能）
② 創造的な美術の表現をするために必要な思考や判断を養う。（思考力、判断力、表現力等）
③ 色やかたちの美しさが生活の質につながることを理解し、ものの見方、感じ方、考え方を深め、主体的に表現することや鑑賞の能力や人間性を養う。（学びに向かう力、人間性等）

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、知識を深めている。 ・なぜ美しい形や色がと感じるかを理論的に身に付けている。 ・美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	・感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたことを思考し、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な判断を行い、意図に応じて、表現方法を工夫している。	色やかたちの美しさが生活の質につながることを理解し、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション	教科書の作品を鑑賞し感想レポートを作成する	a:関心の持てる作品を選択し時代背景や素材などの知識を深めている c:自分なりの視点をもち意欲的に取り組めている	レポート 振り返りシート		授業態度 レポート 作品
	クロッキー	人物クロッキー	a:画面いっぱいに大きくモデルの全身を表現出来ている b:人物の動きや形を線の強弱を利用し立体的に描けている c:表現方法に工夫がみられ、描いた日付や取り組み時間等が作品に記入されている	作品	作品	授業態度 作品
	モダンテクニック・中庭の風景	様々な表現方法を知る モダンテクニックを使って中庭の風景を描く	a:モダンテクニックの種類や名前を理解し知識を深めている b:偶然できる色や形に興味を示しそのテクスチャーやマチエールを使用し自分の視点で表現できている c:作品の画面から作者の意図が感じられる	作品 制作途中の作品 振り返りシート	作品 スケッチ 制作途中の作品	授業態度 作品 制作途中の作品
2学期	クロッキー	人物クロッキー	a:画面いっぱいに大きくモデルの全身を表現出来ている b:人物の動きや形を線の強弱を利用し立体的に描けている c:表現方法に工夫がみられ、描いた日付や取り組み時間等が作品に記入されている	作品	作品	授業態度 作品

※令和４年度以降入学生用

	色見本帳つくり	アクリル絵具を用いて、色見本帳を作り、そこからマンセル色体系に基づく、色の三属性と色彩の対比効果や減法混色技法などを学ぶ	a:体系立てられた色彩理論について興味関心を示している。アクリル絵具と筆の特性を理解できている。色の三属性と対比、減法混色技法から色彩の性質を分析し、理解が出来ている。 b：絵の具の混色を正確に行い美 しく着色することが出来ている	作品 制作途中の作品 振り返りシート	作品 制作途中の作品	
	干しシイタケの制作	石粉粘土を使って干しシイタケを立体的に表現する。 さらにアクリル絵具を用いてモチーフの持つ色彩も再現する	a:モチーフの持つ構造や美しさを的確に感じ取り計画的に構想できている。石粉粘土や加工道具の特性を理解できている。 b: モチーフの持つ構造や美しさを的確に感じ取り計画的に構想できている c:モチーフの持つ形の特徴を立体的に表現することに関心を持ち、主体的に制作している	作品 制作途中の作品 振り返りシート	作品 制作途中の作品	授業態度 作品 制作途中の作品
	静物デッサン	卓上にモチーフ2点を置き鉛筆を使い画用紙にデッサンする	a: 静物モチーフの置き方や視点に工夫がみられ形体や色を表現しようとする。鉛筆の濃淡で立体が表せることを理解している b:光を美しいと感じ表現ができている c：客観的に形をとらえる事が出来ている	作品 制作途中の作品 振り返りシート	作品 制作途中の作品	授業態度 作品 制作途中の作品
	西洋美術史	時代ごとに美術作品や建築、工芸品についての特徴をまとめレポートを書くグループごとで作品を1点選び、その作品についてまとめ発表する	a:西洋の芸術に関心を持ち文化について理解しようとしている。 西洋美術の特質や様式、主題や表現方法に理解を深めている c:グループ活動やプレゼンテーションで意欲的に発言できている	レポート 振り返りシート		レポート プレゼンテーション

※令和４年度以降入学生用

３学期	クロッキー	人物クロッキー	a:画面いっぱいに大きくモデルの全身を表現出来ている b:人物の動きや形を線の強弱を利用し立体的に描けている c:表現方法に工夫がみられ、描いた日付や取り組み時間等が作品に記入されている	作品	作品	授業態度 作品
	凹版画	版画の鑑賞 ドライポイントプレートにニードルやカッターナイフを用い未知の生物を想像して描画する プレス機を使用し油性インクを詰めふき、刷り取る	a: 版画作品の良さを理解している b:テーマをもとに想像力を働かせ表現が工夫されている c:版画の特性を生かし主体的に表現しようとする	作品 制作途中の作品 振り返りシート	作品 制作途中の作品	授業態度 作品 制作途中の作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度